

資料3

Ⅱ② 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
病院事業	長野県	大田市	病院事業会計	1
	福岡県	小竹町	小竹町立病院事業特別会計	3
宅地造成事業	青森県	青森県新産業 都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	4
観光施設事業	奈良県	宇陀市	保養センター事業特別会計	6
	高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	8

長野県大町市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

（1）収益確保の取組（29年度決算対比による増収）

- ①平成30年7月から許可病床数を199床に変更し、新たな施設基準取得や加算などによる入院、外来収益の増加
（6,360万円増収）
- ②一般病棟における機能評価係数Ⅱを向上させる取組による増収
（6,500万円増収）
- ③平成30年4月の診療報酬改定に伴う入院収益の増加
（1,800万円増収）
- ④平成30年11月に在宅療養支援病院施設基準取得による外来収益の増加
（680万円増収）
- ⑤その他ベッドコントロールなど効果的な病棟受入等による収益増加
（3,800万円増収）

（2）コスト削減の取組（29年度決算対比による削減）

- ①事業管理者及び正規職員の給料、賞与を削減
（2,500万円削減）
- ②休日勤務手当の見直しなど、各種手当の削減
（1,500万円削減）
- ③業務の効率化による時間外勤務手当の削減
（2,000万円削減）
- ④診療材料費の単価交渉、価格見直しなどによる削減
（1,000万円削減）
- ⑤人員及び人件費の適正化を進め、職員数の減に伴う人件費の削減
（2,750万円削減）

（3）その他の取組

- ①一般会計からの繰入金は当初計画どおり確保（9億3,400万円）
- ②一時借入金年度末残高の減少（前年度末より1億円減少）
- ③退職給付引当金不足分を一括計上し、退職給与費を平準化

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成30年度)	令和元年度 (第2年度)	令和2年度 (第3年度)	令和3年度 (第4年度)
当初計画 A		18,000	100,000	136,000	56,000
解消実績額 B		102,545	—	—	—
現在計画 C		—	100,000	136,000	56,000
B-A 又は C-A		84,545	0	0	0
資金不足額		859,747	757,202	657,202	521,202

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成30年度)		令和元年度 (第2年度)	令和2年度 (第3年度)	令和3年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	22.0	20.6	18.1	17.8	14.5	13.2

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 経営健全化に向けた他職種チームによる具体策の検討、職員間の情報共有、意識改革に向けた取組を進めた。
- ・ 地域懇談会を開催し、地域住民との意見交換を行った。
- ・ 委員の拡充など病院経営検討委員会の組織強化に努めた。

福岡県小竹町 小竹町立病院事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・救急輪番日を月5日から7日にすることにより、救急患者の受入れを積極的に行い、入院患者数の確保に努めた。
- ・平成30年2月に入院基本料13:1の届出を行い、診療報酬単価の増加を図った。
- ・平成30年5月に地域包括ケア病床入院管理料(10床)の届出を行い、診療報酬増加を図った。
- ・一般名処方、後発医薬品使用体制加算を平成29年2月から算定を開始し、診療報酬単価の増加となった。
- ・近隣医療機関等の非常勤医師報酬の調査を行い、平成29年4月から報酬の見直しを行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成28年度)	平成29年度 (第2年度)	平成30年度 (第3年度)	令和元年度 (第4年度)
当初計画 A		△85,116	△58,753	△8,134	43,033
解消実績額 B		△42,925	△14,037	13,997	—
現在計画 C		△42,925	△14,037	13,997	43,033
B-A 又は C-A		42,191	44,716	22,131	—
資金不足額	105,247	148,172	162,209	148,212	105,179

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成28年度)		平成29年度 (第2年度)		平成30年度 (第3年度)		令和元年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	22.9	45.9	32.1	43.5	33.3	31.8	30.2	18.2

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・外来患者を対象に、病院満足度のアンケートを実施
- ・経営健全化推進会議ほか院内における会議、ミーティングを実施し、職員の経営改善への意識改革に向けた取組を行った。

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 八戸市からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施 (80,571 千円)
- ・ 他会計剰余金からの長期借入れについては、増額の上、継続実施 (1,342,000 千円)
- ・ 令和 18 年度までに軟弱地以外の 2 区画分譲の当初計画に対し、軟弱地以外 1 区画等を分譲

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画	A		527,844	644,853	80,689	80,422
解消実績額	B		527,844	644,929	79,933	111,595
現在計画	C		—	—	—	—
B-A 又は C-A			—	76	△756	31,173
資金不足額		3,406,388	2,878,544	2,233,615	2,153,682	2,042,087

区分	年度	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)
当初計画	A	80,437	80,711	80,719	80,727	80,498
解消実績額	B	82,152	227,420	82,441	82,439	61,295
現在計画	C	—	—	—	—	—
B-A 又は C-A		1,715	146,709	1,722	1,712	△19,203
資金不足額		1,959,935	1,732,515	1,650,074	1,567,635	1,506,340

区分	年度	平成 30 年度 (第 10 年度)	令和 6 年度 (第 16 年度)	令和 12 年度 (第 22 年度)	令和 18 年度 (第 28 年度)
当初計画	A	82,871	80,605	80,715	113,211
解消実績額	B	82,456	—	—	—
現在計画	C	—	80,605	80,715	113,211
B-A 又は C-A		△415	—	—	—
資金不足額		1,423,884	939,866	455,395	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	297.9	297.8	287.1	287.4

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	276.4	277.6	265.7	265.9	254.9	234.4	244.1	222.7

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 29 年度 (第 9 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)		令和 6 年度 (第 16 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	233.3	211.0	222.6	206.2	211.8	194.4	147.2

年度 資金 不足比率	令和 12 年度 (第 22 年度)	令和 18 年度 (第 28 年度)
	計画値	計画値
資金不足比率	82.5	15.0

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 22 年 10 月 1 日から株式会社休暇村サービスによる指定管理運営となり、宇陀市保養センター事業特別会計は同日から宇陀市商工観光課の主管となり、引き続き宇陀市保養センター事業特別会計とその経営健全化計画を管理している。
- ・指定管理者の営業収益は 312,684 千円であり、計画額（385,000 千円）を下回ったものの、平成 30 年度の一般会計からの繰入額は 151,306 千円であり、計画額（147,000 千円）以上に実施した。その結果、資金不足額（H29→H30△127,768 千円）及び資金不足比率（H29→H30△31.2%）は前年に比べて減少した。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		98,216	64,200	△144,581
解消実績額 B		43,911	△6,909	91,870
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△54,305	△71,109	236,451
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,147,569

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	70,480	82,681	133,145	134,470
解消実績額 B	80,272	△65,722	332,809	205,847
現在計画 C	—	△93,905	351,537	188,737
B-A 又は C-A	9,792	△148,403	199,664	71,377
資金不足額	1,067,297	1,133,019	800,210	594,363

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	令和元年度 (第 11 年度)
当初計画 A	161,668	150,758	151,043	146,991
解消実績額 B	251,192	138,005	127,768	—
現在計画 C	262,404	△167,036	176,417	176,593
B-A 又は C-A	89,524	△12,753	△23,275	29,602
資金不足額	343,171	205,166	77,398	174,709

区分 \ 年度	令和2年度 (第12年度)
当初計画 A	147,247
解消実績額 B	—
現在計画 C	174,709
B-A 又は C-A	27,462
資金不足額	—

- 備考 1 「当初計画 A」は、平成21年度に策定された変更前の計画における資金不足額の解消計画額
 2 「解消実績額 B」は、当該年度の資金不足額と前年度の資金不足額の差
 3 「現在計画 C」は、平成25年度に変更された計画における資金不足額の解消計画額
 4 「資金不足額」について、平成30年度分までは実測値、令和元年度及び令和2年度は平成25年に変更した計画における目標値

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 \ 資金不足比率	計画初年度の 前年度		計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7	316.1	

年度 \ 資金不足比率	平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)		平成26年度 (第6年度)		平成27年度 (第7年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	224.2	287.2	306.1	297.2	213.6	215.2	163.9	160.6

年度 \ 資金不足比率	平成28年度 (第8年度)		平成29年度 (第9年度)		平成30年度 (第10年度)		令和元年度 (第11年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	94.9	94.2	137.0	55.9	91.2	24.7	45.3

年度 \ 資金不足比率	令和2年度 (第12年度)
	計画値
資金不足比率	—

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

(1) 資金不足額の推移

建設改良費等の支出額が計画値を下回ったため、資金不足額は計画より減少した。

- ・ 資金不足額 H30 計画：114,879 千円、H30 実績：78,511 千円
- ・ 建設改良費 H30 計画：12,132 千円、H30 実績：5,848 千円

(2) 計画と実績

一般会計繰入金により収支改善したため、資金不足比率は計画を下回った。

- ・ 資金不足比率 H30 計画：42.1%、H30 実績：31.9%
- ・ 事業の規模 H30 計画：272,226 千円、H30 実績：245,697 千円

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	60,060
解消実績額 B		△28,087	△87,944	48,850
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		7,820	9,305	△11,210
資金不足額	765,310	793,397	881,341	832,491

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	73,620	118,168	128,414	154,178
解消実績額 B	△454,604	109,814	125,963	183,992
現在計画 C	—	—	125,963	183,992
B-A 又は C-A	△528,224	△8,354	△2,451	29,814
資金不足額	1,287,095	1,177,281	1,051,318	867,326

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	令和元年度 (第 11 年度)
当初計画 A	267,669	242,434	261,353	271,484
解消実績額 B	265,307	259,213	264,295	—
現在計画 C	265,307	259,213	264,295	277,395
B-A 又は C-A	△2,362	16,779	2,942	5,911
資金不足額	602,019	342,806	78,511	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	246.7	247.1	279.7

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	225.4	457.7	429.3	436.8	382.2	401.5	325.5	336.3

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 29 年度 (第 9 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)		令和元年度 (第 11 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	227.2	235.2	138.2	149.0	42.1	31.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 22 年度から 10 年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計から繰入れを行い、資金不足比率の改善を図る。